

ほほえみ通信 第46号
 制作・編集・印刷・発行・送付
 まつど徳洲苑 広報委員会
 ◎坪沼恵美子 山口澄恵
 井上陽子 中島弘喜
 尾瀬祐希 大庭千春
 濱野千尋 杉山孝志
 〒270-0001
 千葉県松戸市寺田180-1
 Tel 047-309-7172 Fax 047-309-5125
 医療法人徳洲会
 介護老人保健施設まつど徳洲苑
 (併設居宅介護支援事業所あじさい)

ほほえみ通信

新年度のついで接ぎ

もう直ぐ春です
 事務長 小森紀男
 連作障害について考える

先週育苗器にナスの接ぎ木用台木タネを蒔きました。連作障害を防ぐために接ぎ木苗をつくるためです。

野菜も花も毎年同じ場所に栽培すると連作障害になり、良いものが出来ません。同じ所では好む栄養素を取りすぎてしまう、害虫がそこに集中してしまうなどが原因で連作障害が発生するそうです。

木々は遠くに種子を風や鳥などに運んでもらい、命を継いでいきます。また動物達は新たなパートナーを求めて移動していきます。春の訪れを感じますね。

新型コロナウイルスが依然として猛威をふるっています。次から次へと姿を変え、己の命を継いでいるようにも見受けられます。人類はこの危機を凌いでいけるのでしょうか。

三月五日に当苑四階にて発生した新型コロナウイルス感染症クラスターは、松戸保健所及び、千葉徳洲会病院感染制御部の指導を仰ぎながら、終息に向けて取り組んでおります。

この間、ご利用者様及びご家族様、並びにご関係者様には多大なご心配と不自由をおかけしていますこと、深くお詫び申し上げます。

なおクラスター発生は四階のみとなっておりますので、四月四日からは、二・三階の新規ご利用者さま及び三月二十五日から通所リハビリのご利用は再開させていただいております。

今後とも、安心、安全なサービス提供に向けて努めて参ります。ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

節分

みなさまはなぜ節分で豆をまくのかご存知ですか？
 元々は中国に古くから伝わる「追儺（ついな）」という厄を払う儀式が始まりだそうです。

昔の中国では「鬼」いわゆる病気や厄を「追儺（ついな）」と呼んでおり、鬼の目↓魔の目↓豆となり、鬼の目を打ちつぶし災厄を逃れたという故事伝説が始まりと言われているようです。

また別の説では大豆にはお米と同様に精霊が宿るとされており、お米よりも鬼に当たった時のダメージが大きいため、悪霊を祓うことにも適しているという理由もあるそうです。当苑でも二月三日に各フロアにて豆まきの行事が行われました。鬼に扮した職員にめがけて豆の代わりにカラーボールを使用して安全に配慮しながら「鬼は外！福は内！」と元気に豆まきをしていただきました。また各フロアで豆まきにちなんだぬり絵や、最後には鬼に扮した職員と記念撮影をされたりと、思い思いに節分の日を楽しんでいただきました。



ひな祭り

介護士 大庭千春
 あかりをつけましょぼんぼりに♪
 三月といえば「桃の節句、ひな祭り」ですね。ひな祭りというと女の子や女性向けの行事という印象ですが、みなさまにとっても大切な思い出になっているかと思えます。

また、三寒四温で少しずつ春に近づき、気持ちも温まることでしょう。
 食事をして一段落した後は、リハビリ職員三浦によるギター演奏で「うれしいひなまつり」や「仰げば尊し」の合唱やひな飾りと記念撮影を行いました。みなさま素敵な笑顔をされていました。



栄養科だより

管理栄養士 山口澄恵

今回は三月三日ひな祭りの行事食をご紹介します。菱餅を模した三色のケーキ寿司や桜エビ入りのクリームコロッケ、可愛らしい手毬麩を入れた清まし汁など、ひな祭りにちなんだメニューの提供を行いました。

色鮮やかなお食事を目でも楽しんでいただけたかと思えます。ご利用者様からは「美味しい、綺麗」と喜びの声が聞かれました。

今後季節を感じる事ができるお食事の提供を行い、みなさまに楽しんでいただけるよう努めます。



桃の節句メニュー&三色羊羹

厨房の取り組み

感染拡大防止のため、感染された方のお食事は使い捨て食器を使用し提供を行っております。主食、汁物、副菜をそれぞれ使い捨て食器に移し配膳させていただきました。

上下膳の提供順番も変更させていただきました。感染防止に努めております。



食事提供例

デイだより

介護福祉士 中島弘喜

風が強い日にはまた寒さを感じるかもしれないが、暖かい日が増え、着るものに悩む季節になりました。

デイケアでは二月三日に節分のイベントがありました。鬼に扮した職員が苑内を練り歩き、ご利用者様に季節を感じていただけたと思います。三月三日にはひな祭りのイベントとして桃の花飾りを添えたケーキを用意し、輪投げ大会で得点を競い、お好みのケーキを選んでいただきました。美味しく楽しいイベントに喜んでいただけたと思います。

今後ご利用者様に楽しんでいただけるイベントを考えていきたいと思えます。



お花見

今年も桜の季節を迎え、当苑の桜も満開になりました。

窓から見える桜の美しさに「綺麗ね」とうっとりする姿や「ここからが一番綺麗に見えるのよ」と絶景の場所を教える下さつたりと、一年に一度の桜の季節を思い思いに過ごされていました。



看護師 濱野千尋

今後の行事予定

- 5月 端午の節句
- 6月 初夏の運動会
- 7月 七夕まつり

※行事はご利用者様と職員のみで実施

移動図書…月1~2回 金曜日



リハビリ便り

理学療法士 杉山孝志

今回は腰痛体操をご紹介します。座り作業で前かがみが続いたときや重い荷物を持った後など、そのままにしておくと腰痛の元となりますのでしっかりとケアをして行きましょう。

①足を肩幅よりやや広めに開き、骨盤を押し込め、膝は出来るだけ伸ばして、腰をしっかりと反らして下さい。

②息を吐きながら最大限に反らした状態を三秒間保って下さい。ストレッチは痛みが出ないように、無理せず毎日行って下さい。



編集後記

介護支援専門員 井上陽子

花の便りに心弾む季節となりました。花粉症の方にとっては辛い毎日ですが、春はウキウキする季節ですね。

さて、今回のほほえみ通信は、節分・ひな祭りお花見などを掲載させていただきました。面会が思うようにできず、寂しい思いをされているご家族様もいらつしやるかと思えますが、苑内では毎月行事を計画し、楽しく過ごしております。

今後まつど徳洲苑一同はご利用者様に安心して生活していただけるように日々努めさせていただきます。

ほほえみ通信を作成するにあたり、ご協力下さいましたみなさま、ありがとうございます。次号から委員会メンバーの変更がございます。また進化したほほえみ通信を楽しみにして下さい。